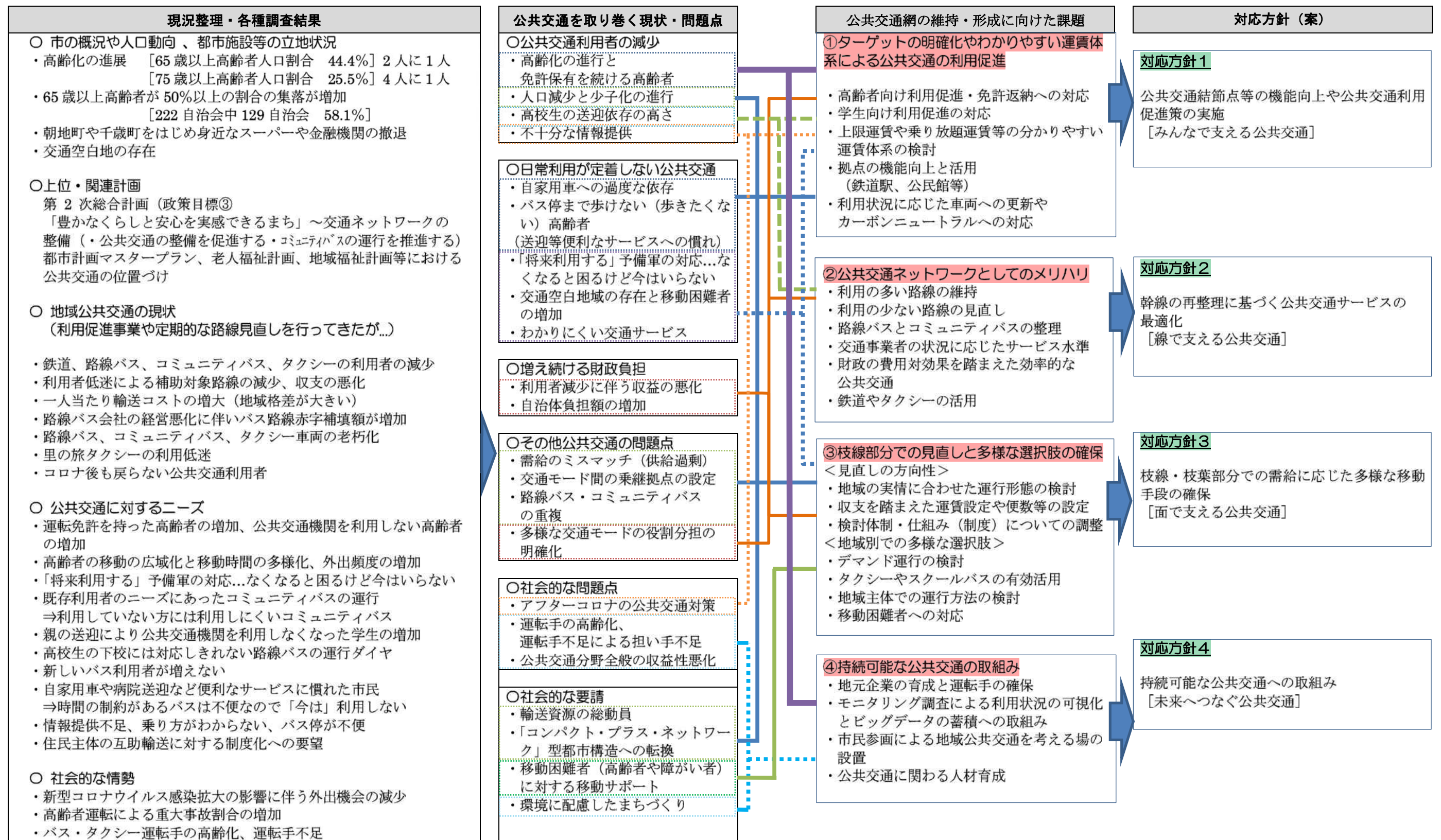


## 8-1. 現況整理・各種調査結果と現状の問題点を踏まえた今後の課題整理および対応方針



# 8-2. 基本方針とその方針イメージ

本計画では、総合計画や大分県豊肥圏地域公共交通計画をはじめとする上位・関連計画を踏まえ、地域の実情に即した持続可能な地域公共交通の実現を目指しています。

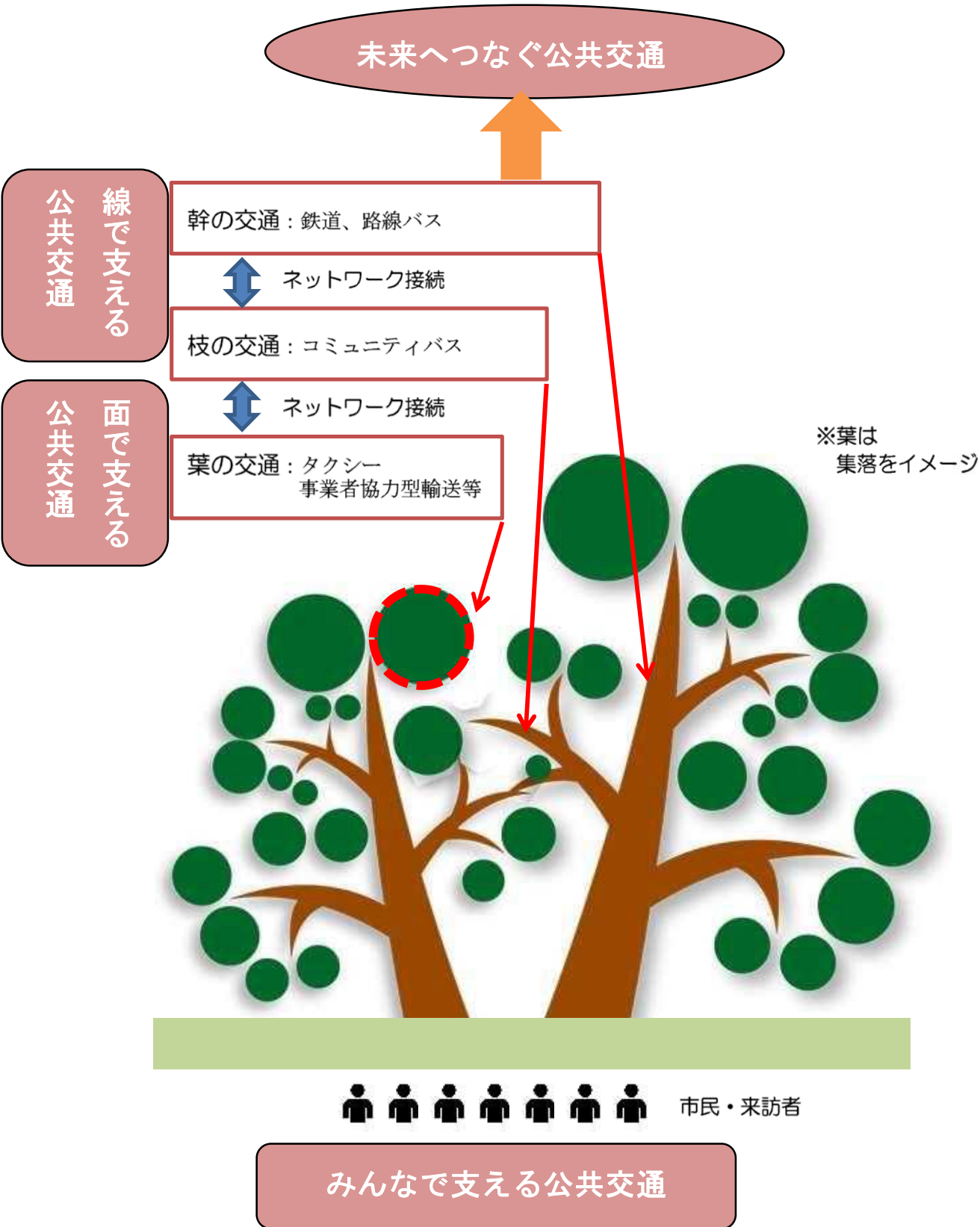
今後の豊後大野市では、人口が減少し、少子高齢化が進む中で、シニアが生き生きと活躍できる地域を創造するために、持続可能な都市形成を目指して、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市構造へと再編を進めていきます。具体的には、地域公共交通が、市民の住む地域から各町の拠点にアクセスしやすくなるネットワークを提供することで、次の世代にバトンタッチできるまちづくりを進めていきます。また、これまでのように、行政や交通事業者から与えられるサービスを使うだけでなく、地域住民が自ら乗って残す意識を醸成することや地域公共交通の課題を地域住民が主体的に捉え、地域と行政が連携を図りながら、持続的な地域公共交通の実現を促進します。これらのことを踏まえ、本計画の基本方針を以下のように設定します。

未来へつなぐ豊後大野市地域公共交通の新たな杜（もり）づくり  
 ―まち・ひと・くらしを面と線で守り育てる公共交通体系の実現―

## ○地域公共交通計画における補助との連動について

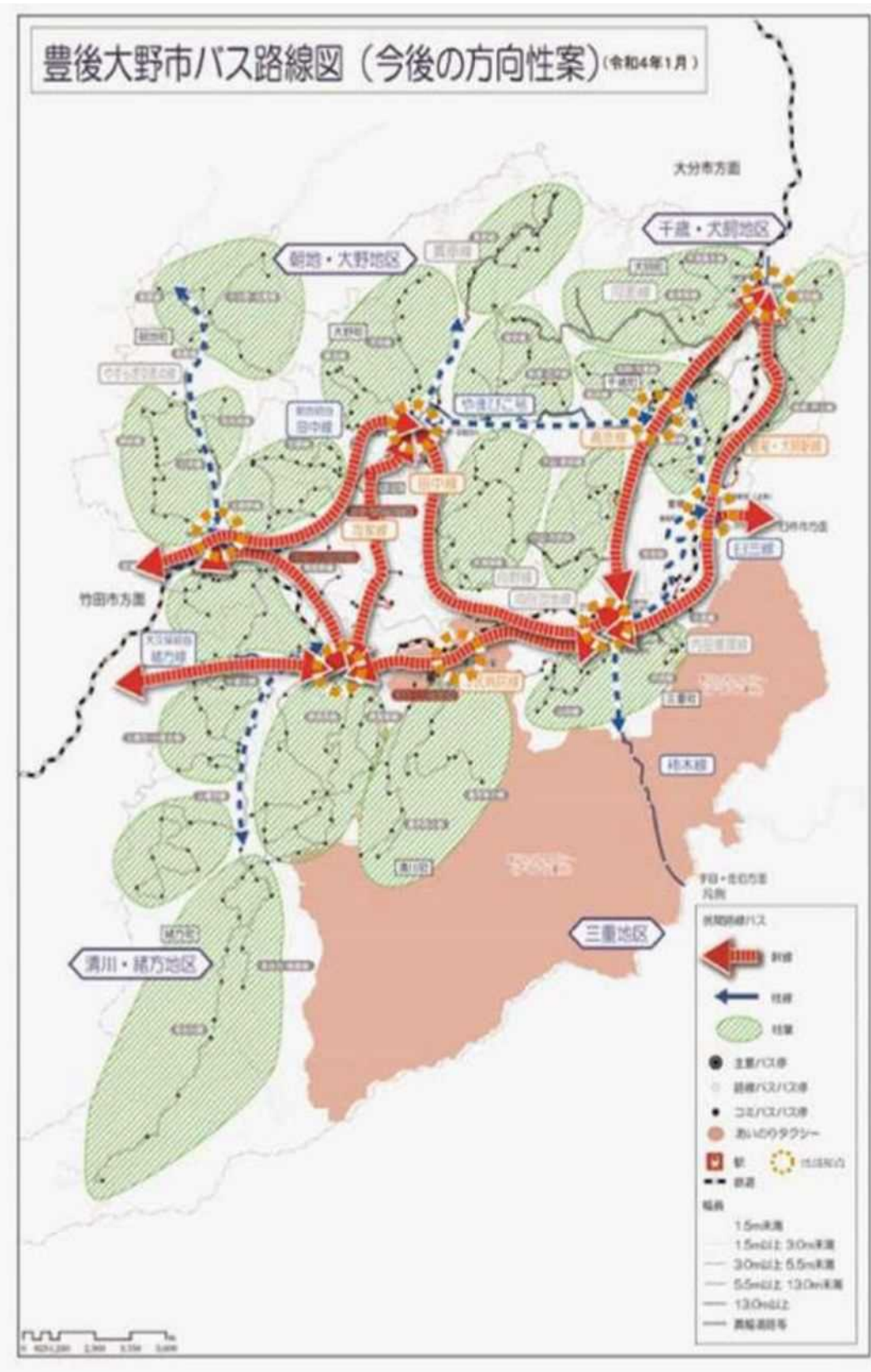
地域公共交通網の再構築及び将来にわたって維持を行うため、運行費の国庫補助（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金及び地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、県補助金（生活交通路線支援事業費補助金）や起債（過疎債）等の有利な補助事業を活用する必要があります。

また、バス車両の更新や各種調査を行う際には、地域公共交通バリア解消促進等事業や地域公共交通調査等事業などに取り組むほか、電源立地地域対策交付金事業や、過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業といった集落機能の維持・向上を目的とした事業についても検討します。



8-3. 将来方針図と交通モード別の役割

8-3-1 将来方針図と交通モード別の役割



| 地域間幹線 | 地域内枝線 | 地域内枝葉 | 交通モード                  | 役割                                             | 主な利用目的                                           | 想定する利用者層            | 確保維持策                                |
|-------|-------|-------|------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------|
| ↑     |       |       | 鉄道                     | 豊肥本線沿線の大分市・竹田市方面との地域間の幹線として、広域の移動を担う           | 通勤・通学<br>通院・買い物<br>生活活動<br>趣味・レジャー<br>観光<br>ビジネス | 市民<br>市内外通学者<br>来訪者 | 交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保              |
|       |       |       | 路線バス                   | 隣接市との地域間を結ぶ幹線として、広域の移動を担う。                     | 通勤・通学<br>通院・買い物<br>生活活動<br>趣味・レジャー<br>観光<br>ビジネス | 市民<br>市内外通学者<br>来訪者 | 交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保              |
|       | ↑     |       | コミュニティバス               | 小中学生の通学路線として、また鉄道や路線バスを補完する幹線として、地域内の移動の役割を担う。 | 通勤・通学<br>通院・買い物<br>生活活動<br>趣味・レジャー<br>観光         | 市民<br>市内外通学者<br>来訪者 | 地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し持続可能な運行を目指す |
|       |       |       | あいのりタクシー（デマンド）         | 集落から地域内拠点までの地域内移動の役割を担う。                       | 通院・買い物<br>生活活動<br>趣味・レジャー                        | 市民                  | 交通事業者と連携した取り組みにより、一定以上の需要を確保         |
|       | ↑     |       | タクシー                   | きめ細やかな移動ニーズや休日の観光客や来訪者の移動ニーズを満たす地域内移動の役割を担う。   | 通勤・通学<br>通院・買い物<br>生活活動<br>趣味・レジャー<br>観光<br>ビジネス | 市民<br>来訪者           |                                      |
|       |       |       | ・事業者協力型輸送<br>・地域の助け合い等 | 身近な交通結節点までの互助的な輸送の役割を担う。                       | 交通結節点までの移動<br>集落内拠点までの移動                         | 市民                  |                                      |

### 8-3-2 地域公共交通確保維持事業の必要性

本市においては、過疎・高齢化の進行により、日常生活を送る中、公共交通に頼らざるを得ない交通弱者増加への対応、交通空白地域におけるコミュニティバスの運行への強い要望、現在運行されている公共交通機関の不便さ、免許返納希望者への対応としての公共交通の運行など、市民の公共交通に対するニーズは日に日に増している。

広大な面積を有する本市では、地形的条件により鉄道やバスの運行路線から遠く離れた交通空白地域も多く存在するため、これら地域の住民生活に密接に関係する交通手段の確保は市の施策の中でも最優先される喫緊の課題となっている。

このことから、平成 18 年度に市地域公共交通会議を設置し議論を重ねた結果、平成 23 年度に市地域公共交通連携計画を策定し、市内全域にてコミュニティバスの運行を開始した。現在は、平成 29 年度に策定し位置づけた市地域公共交通網形成計画に基づき、市内にて、コミュニティバスを 45 路線、あいのりタクシーを 7 つの区域で運行している。

市地域公共交通網形成計画策定後の 5 年間において、少子高齢化のさらなる進行による住民ニーズの変化や、新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通を取り巻く環境が大きく変化した。

こうした背景を踏まえ、豊後大野市では、第 2 次豊後大野市総合計画後期基本計画で示された、将来像「人も自然もシアワセなまち」まちづくり大綱「育ち合い、行動する、市民参画によるコミュニティづくり」の実現に向け、公共交通が果たす役割を再認識し、持続的な公共交通体系を構築することを目的に、活性化再生法に基づき令和 4 年度に、本市にとって最適な交通ネットワークを構築し、市民が利用しやすい生活交通手段の維持・確保を図ることを目的とした「豊後大野市地域公共交通計画」(案)を策定した。

この計画では、目標を達成するため、各種施策に取り組むことで、市内地域公共交通網の再構築や将来にわたって地域公共交通を維持・確保を継続していくこととしており、運行費の国庫補助事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)は重要な取組となっている。

※地域内フィーダー補助系統についてはP38を参照

## 8-4. 実施事業の一覧表

| 基本的な方針                    | 実施事業                                                                | 事業概要                                                                                                                                            | 計画目標（数値目標）                                                                | 実施主体                                                                                               | 時期  | 利便増進事業 |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|
| 公共交通のための利用促進策の実施          | ①多様な団体と連携した公共交通の利用促進                                                | ・高齢者向けの公共交通利用促進（大人の社会見学＜フェーズ2＞事業）<br>・高校生向けの公共交通利用促進（ジモテキ継続に向けた取り組み）<br>・バス・タクシー共通乗車券や地域の商店・企業と連携した取り組みなど、豊後大野らしく身の丈に合ったMaaS（MaaaS）<br>・JRの利用促進 | <他分野・関係者との連携に基づく公共交通の浸透><br><br>①利用促進事業の実施回数                              | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会、九州旅客鉄道㈱<br>大野竹田バス㈱、豊後大野市タクシー協会、自治会、婦人会・老人クラブ連合会、公民館<br>地域の商店・企業<br>大分大学、三重総合高校ほか | 短中期 | ●      |
|                           | ②免許返納を促進するための取り組み                                                   | ・運転免許自主返納の支援（高齢者運転免許証自主返納支援事業の継続等）                                                                                                              |                                                                           | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会                                                                                  | 短中期 |        |
|                           | ③運賃施策の検討・実施による利用促進                                                  | ・わかりやすい運賃体系の実現（上限運賃、乗り放題運賃など）                                                                                                                   |                                                                           | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会、大野竹田バス㈱、豊後大野市タクシー協会                                                              | 短中期 | ●      |
|                           | ④情報発信による利用促進                                                        | ・地域公共交通活性化協議会ホームページの開設<br>・時刻表の発行                                                                                                               |                                                                           | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会<br>大野竹田バス㈱、豊後大野市タクシー協会                                                           | 短中期 | ●      |
|                           | ⑤交通結節点の整備とそれに伴う運行の見直し                                               | ・三重町駅周辺開発に伴う拠点整備<br>・駅や市役所・支所等、拠点となるバス停留所の環境整備とルート変更                                                                                            |                                                                           | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 ※(b)<br>九州旅客鉄道㈱、大野竹田バス㈱、豊後大野市タクシー協会、地域振興協議会ほか                                    | 中長期 |        |
|                           | ⑥環境や社会情勢に応じた車両の更新や有効活用対応                                            | ・バス車両の定期的な更新<br>・環境や社会情勢に応じた車両への転換                                                                                                              |                                                                           | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 ※(b)<br>大野竹田バス㈱、豊後大野市タクシー協会                                                      | 継続  |        |
|                           | ⑦デジタル技術を活用した利用促進                                                    | ・モバイル定期券導入や電子決済等の検討                                                                                                                             |                                                                           | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会                                                                                  | 中長期 |        |
| 幹線の再整理に基づく公共交通サービスの最適化    | ①市内公共交通網（幹線）の再整備（路線バス、コミュニティバス、スクールバスの再編）                           | ・路線バスのコミュニティバス化の検討<br>・スクールバス混乗化の検討                                                                                                             | <公共交通サービスの最適化の実現><br><br>①利用者1人当たりの運行コスト<br>②公共交通の利用者数<br>③公共交通利用者満足度※(a) | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 ※(b)<br>大野竹田バス㈱、豊後大野市タクシー協会、市教育委員会、PTA、自治会ほか                                     | 中長期 | ●      |
| 枝線・枝葉部分での需給に応じた多様な移動手段の確保 | ①市内公共交通網（枝線・枝葉）の再編（路線バス、コミュニティバス、あいのりタクシー、タクシー等既存の交通モードを含む輸送資源の総動員） | ・バス路線の幹線・枝線・枝葉の明確化と再編<br>・輸送資源の活用・再配分の検討                                                                                                        | <新たな移動支援モデルの実現><br><br>①運行内容の見直し区域数※(a)                                   | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 ※(b)<br>大野竹田バス㈱、豊後大野市タクシー協会ほか                                                    | 中長期 | ●      |
|                           | ②タクシー助成制度導入の検討                                                      | ・市民の生活スタイルの向上とともに、乗客一人あたり財政支出の適正化に向けた新たな制度を検討す                                                                                                  |                                                                           | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 ※(b)<br>豊後大野市タクシー協会                                                              | 中長期 |        |

|                 |                                          |                                                       |                                                                             |                                                                     |     |  |
|-----------------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----|--|
|                 |                                          | る。                                                    |                                                                             |                                                                     |     |  |
|                 | ③地域主体による地域内公共交通の検討                       | ・地域主体でのタクシーの活用や交通事業者が協力する自家用有償旅客運送制度の検討               |                                                                             | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 ※(b)<br>自治会連合会、高齢者福祉団体<br>大野竹田バス(株)、豊後大野市タクシー協会ほか | 中長期 |  |
| 持続可能な公共交通への取り組み | ①継続的なモニタリングによる適切な見直し                     | ・モニタリング調査の実施                                          | <運行継続のための情報（データ）・ヒト（組織）の資源整備><br><br>①モニタリング調査結果の情報共有（年に2回）<br>②各種学習会への参加回数 | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会、大野竹田バス(株)、豊後大野市タクシー協会                             | 継続  |  |
|                 | ②バス・タクシー乗務員募集周知への協力とコミュニティバス乗務員の確保への取り組み | ・乗務員募集周知への協力<br>・自家用有償旅客運送認定講習への参加促進                  |                                                                             | 豊後大野市地域公共交通活性化協議会、大野竹田バス(株)、豊後大野市タクシー協会                             | 継続  |  |
|                 | ③公共交通を支える組織と人づくり                         | ・各種学習会（Qサポや九州運輸局主催研修会等）への参加<br>・「地域公共交通を考える会」の立ち上げ・開催 |                                                                             | 豊後大野市地域公共交通活性化協会<br>市民、各種団体、歴代公共交通担当者ほか                             | 短中期 |  |

※(a)、(b)...運行費の国庫補助対象系統に関しては別紙に記載